

ところざわ倶楽部  
第13期定期総会資料

2019年11月22日（金）

新所沢公民館ホール

# 目 次

1、第12期ところざわ倶楽部総括	P 3
2、第12期活動報告	
2-1 総務部報告	P 5
2-2 事業部報告	P 6
2-3 広報部報告	P 8
2-4 サークル活動報告	P 9
3、第12期会計報告および監査報告	P17
4、第13期役員改選（案）	P18
5、第13期ところざわ倶楽部活動方針（案）	P19
6、第13期活動計画（案）	
6-1 事業活動計画（案）	P21
6-2 広報活動計画（案）	P22
7、第13期予算（案）	P23

## 1. 第12期ところざわ倶楽部総括

“多彩な活動で「ところざわ倶楽部」の認知度も広まりました”

ところざわ倶楽部会長

佐藤 重松

この1年、私たちをとりまく環境の、政治、経済、社会保障（医療・年金・介護・子育て等）政策は、改善されたのか、後退したのか、会員の皆さんの生活実感からご判断は如何なものでしょう。

今年も、地球温暖化が原因であろう自然災害の猛威は止まることを知りません。毎度のように台風の通り道・線状降雨帯やゲリラ豪雨の猛威に難儀し疲弊されている被災地、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、ところざわ倶楽部会員の中でご実家や親戚が被災地にある方は、その都度のご心配をお察し申し上げます。

人口減少が確実にすすむ見通しのなかで、過疎地の加速度的な高齢化をはじめ、全国的に一人世帯の急速な増加、そして空き家の増大と併せて防犯、防災上のリスクも増大しています。所沢市も例外ではありません。

悲観的要素が多いこの頃ではありますが、それらを払拭するような「アクティブエイジング」ところざわ倶楽部の活動を振り返ります。

### 【1】第12期ところざわ倶楽部全体の取り組みについて

全体の事業と各サークルの活発な活動、或はサークル同士のコラボ、又、地域貢献のボランティアと多彩な活動が展開され、高齢化がすすむ中で、素晴らしい「アクティブエイジング」集団として進化し続けた一年でした。

全体事業については、全てに於いて予想を超える結果が得られました。

① 新春の集い（新会員歓迎）② 時局講演会（原発問題を語る）③ 文芸講座（平家物語/滅びの章）④ 第1回「ところざわ倶楽部まつり」と、一般市民の参加も得ながらの開催も定着しました。特に、従来の文化祭をリニューアルし、「ところざわ倶楽部まつり」として実行委員会方式で舞台部門・展示部門・運営・演出とそれぞれの分野で計画と検討がすすめられ、サークル連携の相乗効果も発揮されました。とりわけ、ミューズ改修の余波で中央公民館ホールを確保できず、松井公民館ホール&ギャラリーにシフトしたことで、第1回「ところざわ倶楽部まつり」のイメージがかたちづくられていきました。

ところざわ倶楽部初めての取り組みとして、地元団体への後援依頼・地元事業主への協賛依頼について取り組んだ結果、それぞれ趣旨に賛同頂き、後援了解と協賛品提供が得られたことが追い風となり、地元も含めて一般市民の参加も多数あって、フィナーレの音頭と踊り、最後の大抽選会まで会場を盛り上げることができた経験は、今後につながるものと思います。

【2】サークル企画のミニ講演会やミニ集会在が活発に行われてきました。

ミニ講演会ドラマティック・カンパニー（笠松泰洋先生文化交流使帰国報告会）、食を通して所沢を知る会（元市長当摩好子氏のこども食堂の現状について）、（東京農工大学名誉教授淵野雄二郎先生の遺伝子組み換え、種子問題と農薬/食の安全について）やミニ集会（時局講演会のフォローとして原発トーク）等々、それぞれのサークルが今日的テーマを取り上げ、学習と啓蒙活動が盛んに行われて来ていることに敬意を表します。

【3】近年、早稲田大学（人間科学/老年学 加瀬裕子教授）との交流がすすみ、老年学の見地から「ところざわ倶楽部」は「アクティブエイジング集団」との称号を頂きました。香港中文大学の学生（20 余名）と早稲田大学との交流のなかで、所沢市で元気に活動している高齢者団体「ところざわ倶楽部」についてプレゼンの要請があり、交流も兼ねて活動の紹介を行い、大変な驚きと関心を示されました。現在の香港情勢のなかで、あの学生たちはどんな状況にあるのだろう・・・と案ずる次第です。

直ぐに2回目の依頼があり、今度は早稲田大学（人間科学）の学生（30 余名）にプレゼンを行いました。終えてからいくつかの質問がありましたが、その中の一つ「今まで生きて来たなかで、どの年代が一番楽しかったか？」これにはプレゼンに参加した（男4名・女2名）6名が異口同音に「今（現在）が一番楽しい！」と応えました。このことに学生たちは感嘆し、このプレゼンが、高齢になっても楽しく生きていけるのだ！とのメッセージを彼らに残せたと思います。

【4】今期は、新しいサークルの起ち上げと/ところざわ倶楽部加入受け入れの努力の年に。

1つは、スポーツ系のサークル「テニスサークルを作りませんか」と23期修了生が発起人となり、3月号「広場」で呼びかけを行うも応募者なく断念しました。テニス愛好者は会員のなかにも多数存在していると思いますが、それぞれが地元のクラブに所属されているようで残念な結果となりました。

もう1つは、講師笠松泰洋先生のアドバイスもあり、25期音楽グループ「雅の会」が、ところざわ倶楽部への入会を視野に検討を頂いているところです。ところざわ倶楽部まつりに舞台参加していただき、また、10月26期の発表会でも、グループワークで「雅楽に倣う・万葉の香りを奏でる」を演奏。現在、「音楽」のグループワークは奇数期・偶数期とも笠松先生がご担当されているところから、「雅の会」の皆さんには、これからの複数期修了生の受け皿になって頂きたいと願っています。

【5】高齢となつてあるいは体調をくずされ退会を余儀なくされたみなさん、出来れば、自宅に於いて「広場」やHP等にご意見や投稿参加など、引き続きつながっていただきたいと思います。

その意味で、身近なところに、「集えるサロン」を社協や包括支援センターの連携でつく

る努力をしております。今期は吾妻地区荒幡に 20 期の会員が中心となり「二木の会」サロンが起ち上げられ、今月 11 月には松井地区上安松に「まつい茶の花サロン」が起ち上がります。身近な地域の方はぜひご参加下さい。

#### 【6】OB 三団体交流について

OB 三団体は、出身母体が同じであることから、共通する問題や課題もあるのではないかと。生涯学習推進センター曰く、三団体（今後は二団体）あるなかで、センターとして個別の対応が困難（？）な点。このような問題意識から、今期交流を呼びかけ 2 回会合を開催しましたが、まだ成果が見えません。

【7】ところざわ倶楽部の活動の全般が「広場」と HP によって、多彩に全方位的に双方向で情報の共有化ができ、広報部及び編集委員の熱意と努力に感謝します。また、全体事業計画推進役の事業部の皆さん、組織全体のマネジメント役の総務部の皆さん、大変お疲れ様でした。

## 2. 第 12 期活動報告

### 2-1 総務部報告

総務部長 中原幹男

#### 1. 会員動向

前期の会員数は 262 名、退会者は 33 名、今期入会者は 29 名で、12 期の会員数は、258 名です。

#### 2. サークル活動

期初、期中はサークルの増減なく、15 のサークルが活動しましたが、期末に「地域の自然を考える会」が退会しました。

#### 3. 理事会開催

回数は 8 月を除き 11 回開催し、諸課題を議論しました。役員会（会長、部長、副部長で構成）は同じく 11 回開催しました。前期から議事録 1 枚ベスト方針で記載の要点化をはかり、会議後 1 両日中の配布に努め情報伝達をスピードアップしました。

理事会構成：佐藤重松、玉上佳彦、森野辰夫、中原幹男、西郡貢、岡崎久子、石堂智士、大西優、仲山富夫、佐藤美津子、加藤敏恭、小玉正男（途中辞任）、松尾基昭（途中就任）、園田ヒロ子、戸田チイ子、水上俊彦、豊島由久、川上紀春、松尾龍之、方山みどり、岩瀬真弓、大木美和子（21 名）

役員会構成：佐藤会長、玉上広報部長、森野事業部部長、中原総務部長、西郡広報部副部長（5 名）

#### 4. 市民大学との連携事業

市民大学受講中の方々に対し、広報紙「広場」の定時配布や行事チラシの配布などで、

倶楽部行事やサークル活動を紹介して参加を働きかけ、受講中から倶楽部になじみをもってもらえるよう図り、サークルの行事に参加するなど成果が出ました。受講中の企画委員長が続けて倶楽部に入会しており、現役・OB間の意思疎通に努めています。「市民大學通信」も定期的に受け取っています。

- ① 6月11日、生涯学習センターで26期市民大学企画委員会と「OB3団体」懇談会が開催され、ところざわ倶楽部の特長を説明し、企画委員からの質疑に応答しました。
- ② 9月10日、生涯学習センターで市民大学26期生向けの「OB2団体」説明会に参加し、ところざわ倶楽部の構成、15サークル活動説明とホームページ紹介を行いました。
- ③ 10月29日、生涯学習センターで市民大学26期生の閉講式後に、15サークルの活動展示を行い、入会申し込みを受付けました。また、10月9日、15日26期グループワーク発表会への参加を呼びかけ聴講しましたが、昨年に続き観客が増加していました。年々発表レベルが上がり、中身が濃く面白くなっているのも要因と思われます。

## 6. 第13期定期総会と環境講演会

11月22日（火）新所沢公民館ホールで開催。13時から総会、14時30分から環境講演会テーマ「海洋プラスチックが私たちの生活に及ぼす影響」。

### 2-2 事業部報告

事業部長 森野達夫

事業部活動としては、倶楽部会員全員の相互交流の場として、会員の皆さんの関心を持つテーマを選定し、各種の催しを開催しました。

新会員歓迎会は、例年開催している彩翔亭が工事中のため、急遽会員の紹介を得て別会場で開催致しました。時局講演会は皆様の関心の高い「原発問題」を取り上げ、その後、環境サークルとの共催でシンポジウム「原発トーク」へとつながりました。

文学講座は“葵の会”の協力を得て、例年の文学講座とは違い、“能”という新たな分野の講座を開催しました。

昨年の文化祭は少しマンネリ化し、出演者の頑張りにも拘わらず観客が少なかったとの反省から、理事会・実行委員会で議論を重ね、皆さんに楽しんで戴ける開催方法を検討してまいりました。「ところざわ倶楽部まつり」と名称も変え再出発し、会員みんなの参加に重点を置き、集客方法にも工夫を凝らしました。自治会、地元の商店の協賛も得て、参加者は約300名となり、大盛況でした。

今回の総会は、ミュージズが工事中のため、会場を新所沢公民館ホールに移し、懇親会は取りやめにして、総会後の講演会を計画しました。

## 主要行事実施概要

- ① 新春の集い : 恒例の新春落語に加え、素晴らしい音色のアルパ演奏は好評でした。また懇親会は和やかな雰囲気の中、多くの方々が発言され、よい交流の場となりました。

た。しかし、会場が変わった事、宣伝が行き渡らなかったこともあり、新会員の参加が少なかったのが残念でした。

- ② 時局講演会 : 原発問題は大きな社会問題であり、元スイス大使の村田光平氏を迎え、会場は満席となりました。氏は新たな視点から問題点を浮き彫りにし、多くの参加者の共感を得ました。とりわけ母性社会という見方はユニークな主張でした。
- ③ 文芸講座 : 葵の会の協力を得て“能から学ぶ古典の世界”というテーマで、平家物語の滅びの章を4回講座として開催しました。一般には馴染みの薄い能の仕舞、謡曲にも触れることができ、大変好評で毎回満席でした。尚、定員を超えた応募があり、抽選で多くの方の受講をお断りする結果となり、落選した方々にはお詫び致します。
- ④ ところざわ倶楽部まつり : 今年度は会場を松井公民館に移し、新たな形で開催しました。舞台出演は8サークル、サークル展示にはほぼ全サークルが参加しました。個人展示も写真、書画、俳句、手芸、生け花など充実した展示会となりました。舞台会場は終日ほぼ満員で、多くの方に楽しんで戴くことができました。
- ⑤ シンポジウム(原発トーク) : 環境サークルを中心として、原発問題に関連した討論会を開催しました。エネルギー、環境問題など、フリーに討論しました。多くの方の活発な発言を得て、有意義な討論会となりました。
- ⑥ 総会、講演会 : 総会は例年通り開催し、その後講演会を開催します。テーマは、今大きな問題となっている“海洋プラスチック”の問題を取り上げます。

開催日	行事名	内容	参加者	会場
1月29日	新春の集い	*アルパ演奏 *落語2題 新会員紹介 サークル紹介	47名 (新会員11名)	さくら会館
5月14日	時局講演会	原発問題 講師:村田光平氏	197名(一般84名)	新所沢公民館 ホール
5月、6月	文芸講座	能から学ぶ古典 平家物語・滅びの章	78名(一般30名)	生涯学習推進 センター
8月6日	シンポジウム	原発トーク	44名(一般11名)	新所沢公民館
9月25日	ところざわ 倶楽部まつり	舞台発表 サークル展示 個人展示	約300名	松井公民館ホ ール&ギャラ リー
11月22日	総会 講演会	総会、講演:海洋プラ スチック問題		新所沢公民館 ホール

## 2-3 広報部報告

広報部長 玉上佳彦

### 1. 本年度の活動

広報部は、ところざわ倶楽部の会員の情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページの編集・作成作業を中心に取り組んできました。他のサークルとのコラボレーションが可能となるように、各サークルや会員の活動を幅広く公開して、相互交流を拡大・促進できるツールとして機能させてきました。同時にところざわ倶楽部の各種イベントなどの案内チラシ、ポスターなども作成してきました。

### 2. 「広場」の紙面構成について

- ・会員への情報発信頻度を維持して、内容を充実させるという観点から、8ページ版での毎月発行を継続してきました。「広場」は、HPをご覧いただけない方々にも見ていただける紙媒体での情報発信ツールとしての機能を果たしています。
- ・編集委員に積極的な女性が増え、活発な提案によって、新たな新企画「みんなの広場」、「おすすめの1冊」などの新たなシリーズをスタートしました。
- ・2018年6月号からスタートした「戦争と平和！」シリーズは、毎号の投稿によって内容が充実し、2019年11月号で16回のシリーズを達成しました。今後も続けていきます。
- ・女性会員の投稿数は、順調に伸びており、昨年同様に投稿数26件となっています。

### 3. ホームページの活用

- ・各サークルの活動報告、個人的なエッセイなどの投稿、会員個人からの情報などの積極的な掲載依頼が多くなり、新情報を多く掲載した充実したHPになってきました。
- ・「掲示板」があまり活用されていないのが残念です。どなたでも書き込みできますので、皆様の積極的なご利用を期待いたします。
- ・ところざわ倶楽部のHPには過去の「広場」のバックナンバーを見ることができるようになっています。6月にはHP上に、「広場掲載データ」としてExcelで作成した表を掲載しています。これは、2007年12月から発刊された第1号から現在までの「広場」の主要なシリーズの投稿者、サークル名、表紙写真などを一覧できるようにしたものです。

しかし、Excelでは大きな表となって検索しにくい点に難があります。今後の課題として、過去13年にわたる先輩諸氏による投稿などの貴重な記録を検索できるように、索引を作成して利便性を高めるように検討していきます。



## 2-4 サークル活動報告

### 1. 葵の会 代表：水上俊彦 連絡先：080-6855-5868 会員数：32名

#### 1. 本年度の方針

葵の会は市民大学16期の「能と源氏」のグループが結成したサークルで、今まで万葉集、源氏物語、古事記、平家物語、井原西鶴、竹取物語、徒然草などを読んできました。会員が増加し新旧会員の混在するなかで、いかに融合して詠む題材を選定していくかが大きな難しい課題になっています。講座設定には工夫をしていきたい。9月以降は昨年度に引き続いて、竹内先生の「能とのコラボ」講座を考えています。

#### 2. 本年度の実績

時代が平成から令和に変わるとき、昨年9月から本年7月（3月を除く。）及川道之秋草学園短期大学教授による「古事記」（上巻）10回の講義に一般参加者4名を加えて受講しました。9月から12月までは5月～6月にところざわ倶楽部主催4回シリーズで講義された観世流名誉師範竹内好夫先生による「平家物語・滅びの章」の後を受け、「葵の会」主催で「平家物語・能とコラボ」を実施しています。葵の会での竹内先生の講義は昨年に続けて2回目ですが、平家物語の神髄に触れ、日本古来の能の基本的なことが理解できました。

#### 3. 来年の方針

来年1月から4月まで4回、及川道之先生による「古事記」（上巻）の残りの部分、或いは古代の歌について学びます。その後は歌舞伎についての講義を検討しています。その他文学散歩、能楽鑑賞、及びバス旅行等を実施、会員間の懇親を図って行きたいと思います。

### 2. アジア研究会 代表：玉上佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員数：38名

#### ①今年度の方針：「アジアの今を学び、今後のアジア情勢を考える」

近隣諸国の問題点について、会員各位の調査報告、具体的問題の討論会、他サークルとのコラボレーション、新企画を加えながら、学びを深め、草の根レベルでのアジア諸国との交流、親善を図る。

#### ②今年度の活動報告：[アジアの諸問題について、各会員による調査報告、討論会を実施]

##### ・アジア諸国の駐在経験者による報告、経験談など

中国、マレーシア、フィリピン、イランなど

##### ・外部講師による講演会 「シルクロードの回想」（渡邊晴男氏）

「ソ連なぜ8月9日に参戦したか」（米濱泰英氏）

##### ・その他講師による講演「台湾茶と日本統治時代の近代化」（中村静子氏）

「宇宙と宇宙開発について」（小嶋一郎氏）

##### ・その他 所沢モスク見学

##### ・時局放談会（中国問題、朝鮮半島問題、日露関係・EU離脱問題）

##### ・11月予定定例会「最近の日韓関係を考える」問題提起と討論

### 3. 活きいきシニア福祉の会 代表：川上紀春 連絡先：090-2497-1076 会員数：17名

#### ① 今年度の活動方針

- ・高齢者福祉制度を学ぶ（活動の中心として継続）
- ・健康に役立つスポーツ、所沢近隣散策、食事会等皆で楽しめる企画を実施

#### ② 今年度の活動実績

- 【11月】「二人の桃源郷」ビデオ鑑賞とサークル新入会員の歓迎会
- 【12月】「不都合な真実2」ビデオ鑑賞と地球温暖化について意見交換
- 【1月】25期市民大学2年次「福祉G」（超高齢社会を生きる）発表会用資料による学習会
- 【3月】航空公園でお花見（桜の下で楽しくお弁当を食べました）
- 【4月】「憲法問題」DVD鑑賞と「アベノミクス」について検証、意見交換
- 【5月】「少子化問題について」日本の現状、ヨーロッパの取組について学習及び意見交換
- 【6月】「ところざわサクラタウン」の施設、今後の開発スケジュールについて学習
- 【7, 8月】グループホーム アンジューム所沢地域交流室での「子供食堂」応援を実施
- 【9月】地域包括支援センター作成「しっとこノート」で終末医療等について意見交換

#### ③ 来年度方針

- ・高齢者、地域福祉制度を学ぶ（活動の中心として継続）
- ・健康に役立つ知識を学ぶ ・所沢近隣散策、食事会等皆で楽しめる企画を検討

### 4. 楽悠クラブ 代表：福田晴男 連絡先：2948-3983 会員数：32名

#### ① 今年度の方針

月例会では、オペラ、クラシックに加え、ミュージカル、ジャズなど、様々なジャンルの音楽を鑑賞演目とし、うたごえ（歌唱）等の時間を設ける。

#### ② 今年度の活動実績

- 1) DVD、LDによる鑑賞（月例）： 参加人員 20～28名（見学者を含む）  
歌劇「アンドレア・シェニエ」、「ばらの騎士」、「フィデリオ」、「魔笛」、「セビリアの理髪師」、喜歌劇「メリーウィドウ」。ミュージカル映画「ラ・ラ・ランド」、「ルートヴィヒ2世」、チェロ演奏曲特集、ジャズ、ファドなど世界各国の音楽
- 2) 「コーラス楽悠サークル」による合唱演奏（ところざわ倶楽部まつりにて）
- 3) その他の活動
  - ・月例会開始時における「発声&今月の曲を歌唱」、1月新年会、9月暑気払い会
  - ・亀井氏（元東京藝術大学教授による講演）、都民芸術フェスティバル、オーケストラの日コンサート、クラブ員所属のオーケストラや合唱団のコンサートなどに参加

#### ③ 来年度の方針

オペラを主として、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルのものを鑑賞するとともに、演奏会や音楽講演会に参加する。

## **5. 食を通して所沢を知る会 代表：園田ヒロ子 連絡先：090-4005-1882 会員数：13名**

### 1. 今年度の活動方針

- ① 所沢の「食」というキーワードを通して、コミュニティの輪を広げる。
- ② 社会貢献で「もったいないを」を「ありがとうへ」フードバンクの活動に応援する。
- ③ 知識習得の講演会や料理実習を行う。

### 2. 活動実績

- ① 9月末までの活動実績8回
  - ・講演会3回（子供食堂の講演、食と農をとりまく現状講演、発酵食品の講座）
  - ・料理実習2回（スパイス料理、超簡単燻製づくり）
  - ・見学1回（サントリー工場見学）
  - ・打ち合わせ例会2回
- ② 10月以降予定2回
  - ・料理を愉しむ1回（多国籍料理）
  - ・講演会1回（お茶の科学 と中国茶の紹介）

### 3. 来年度の方針

- ① 本年度の反省に基づき、計画を立て、会員相互の親睦を計る。
- ② 「食」をたのしみ、他サークルとのコラボレーションを図る。
- ③ 地域貢献として、フードバンクへの協力を広げる。
- ④ 「食」について豊富な経験や知識ある人の講演会や料理実習を行う。

## **6. 地域の自然を考える会 代表：海老澤愛之助 連絡先：2922-0259 会員数：7名**

### ①会の基本方針

1. 地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に参加する。
2. 活動を通じ会員相互の理解親睦をはかる。

### ②活動実績

- |                                     |                    |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1月 トトロの森12号地の管理作業                   | 6月 全国規模の河川等水資源調査   |
| 2月 トトロの森12号地の管理作業                   | 及びトトロの森12号地の管理作業   |
| 3月 トトロの森12号地の管理作業                   | 7月 トトロの森12号地の管理作業  |
| 4月 トトロ財団の収穫祭に参加<br>(他のグループとの懇親を深める) | 9月 トトロの森12号地の管理作業  |
| 5月 トトロの森竹林管理(筍掘り)                   | 10月 トトロの森12号地の管理作業 |

### ③本年度の目標

1. トトロの森12号地を主とする地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に参加寄与する。
  2. 国土交通省、環境省が係わる全国規模で行う河川等の水資源調査に協力する。
  3. 上記1. 2. の作業に継続的に参加すること。4. 会員相互の親睦を図る。
4. 会員相互の親睦を図る

## 7. 地球環境に学ぶ 代表：中島峯生 連絡先：2928-1161 会員数：9名

### 1. 今年度の方針

① 環境・エコ関連施設、設備、展示会等の見学会実施 ② 温暖化への適応策、再エネ普及、廃プラ、ごみ等環境関係の学習情報を適宜「広場」、ホームページで発信する。また、関連講座の開催をする。③ごみ処理については、近隣市町とも連携し継続する。

### 2. 今年度の活動実績

(1) 討論会：「原発問題みんなでトーク」8/6 応援 (2) 鑑賞会：① DVD「不都合な真実2」2/25 二度目の上映会主催 ②映画「おだやかな革命」4/14 上映会応援 (3) 講演会：「モンゴルでもソーラーシェアリング」9/25 倶楽部まつりで講演 (4) 定例会：「レジ袋の有料化などプラ廃棄物の削減戦略(環境省素案)」 「COP24 閉幕パリ協定指針の合意」「プラスチックごみの現状」「石炭火力発電所について」「プラスチックだらけの海」等HPに掲載し環境問題を啓発する。

### 3. 来年度の方針

- ①環境・エコ関連施設、設備、展示会等の見学会実施する。
- ②地球温暖化、再エネ、廃プラ、原発問題等、学習し情報を発信する。
- ③DVD 鑑賞会「モルゲン、明日」主催、朗読劇「線量計が鳴る」支援、他
- ④定例会ではテーマを決めてミニ討論会を実施する。
- ⑤ ごみ処理については、近隣市町とも連携し検討を継続する。

## 8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也

連絡先：090-9820-5668 会員数：10名

### 1. 今年度の方針

- ① 定年後も健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ② シニア世代の社会参加による元気なまちづくりをめざす。
- ③ 仲間どうしの助け合い・支え合いで健康寿命の延伸をめざす。

### 2. 今年度の活動実績

- ・「なんでも塾」・「市政ひよこ塾」の開催：福祉シリーズをテーマに学習。
- ・生涯学習講座の紹介：社会参加のきっかけとなる講座一覧を配布
- ・市民活動支援センターの登録団体として交流活動：センターまつりなど。
- ・SP活動による社会参加：市民フェスティバル、老人ホーム施設訪問。

### 3. 今後の活動予定

- ① 「なんでも塾」「市政ひよこ塾」の開設；学習活動・交流会などを開催。
- ② シニアサロンの開設：なんでも話し合える「たまり場」を開設
- ③ 関連サークルとの交流：諸課題の共有化をはかり連携した活動を展開。
- ④ SPの活動の拡大：市主催の行事参加、老人ホームなどの施設訪問。

## **9. 所沢の自然と農業 代表：稲村洋二 連絡先：2992-1751 会員数：29名**

1. 今年度の方針：下記3テーマの活動を企画し、実行する。

①里山の保全と維持・再生：落葉掃き体験会開催。

今年度後半から：トトロ21号地整備。柳瀬荘黄林閣散策路整備。

②所沢農業の活性化：市民大学ファーム、山田ファームの運営。

③健康つくりと親睦：春と秋のウォーキング、信州リンゴ農家の支援ボランティア

2. 今年度の活動

1月 陽子ファーム落葉掃き（所沢市農業振興課共催） 2月 三芳町伊東農園落葉掃き 4月 横瀬棚田新緑ウォーキング 5月 信州高山村宮川農園リンゴ摘果ボランティア 6月 市大ファーム収穫祭 7月 山田ファーム収穫祭 10月 信州高山村宮川農園リンゴ収穫ボランティア 11月 紅葉ウォーキング 市大ファーム、山田ファーム収穫祭 その他毎月2回黄林閣散策路整備、年4回程度トトロ21号地整備作業 他サークルとの合同イベントとして6月料理実習、9月食トコとのイベント開催

3. 来年度の方針

\*基本的には今年度と同様の活動を主体とするが、他サークルとの連携を通じて農と環境、農と福祉、農と食品の安全等の学習を進めていく。

## **10. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：小川雅愛 連絡先：2907-9476 会員数：40名**

1. 今年度の方針

①前年同様、活動計画の推進のため、5グループ担当制を実施する。

②年間の活動回数は22回を目標とする。座談会・講座・講習など学びの活動と歴史の現場に積極的に出かける市内外の活動を両立させ、心技体バランスある活動を心がける。

③サークル創設10年目にあたり、創設当時の活動や記念的活動も重点的に実施する。

2. 今年度の活動実績

9月末日までの活動実施16（屋内9、屋外7）10月以降はバス旅を含め6回予定。

屋内活動＝歴史座談会・講座4回、語り部講座2回、10年記念の民俗文化講座1回（自然と農業他参加あり）食文化料理講習会1回、25期グループワーク発表兼学習会1回 屋外活動＝歴史・記念日行事見学・史跡探訪等3回、鎌倉街道ウォークほか4回

3. 来年度の方針

①年次の反省と検証に基づく運営と会員の親睦に一層の留意をし、11年目の歴史活動をたのしみたい。屋内外の活動は今年度同様にバランスよく実施する。

②市民大学21期以降、奇数年の修了者の入会者が増加している。奇数年メンバーの学びの成果を生かした活動や最近の入会者の意見の積極活用を心がける。

“10年のあゆみ”を一つの節目として記念誌作成を予定している。

## 11. ドラマティック・カンパニー 代表：高橋信行

連絡先：090-9393-6238 会員数：13名

### 1. 今年度の方針

- ・月2回の例会を可能な限り維持していく
- ・前年度は時間が確保できず実施できなかったが、作品を読み終えた後に配役を決めて練習し、サークル内で発表し、笠松先生よりコメントを頂く。

### 2. 今年度の活動実績

- ・月2回定例会（原則第一、第三土曜日）実施 作品：「マクベス」、「オセロー」  
およびところざわ倶楽部まつり参加のためその練習、「リチャード三世」（継続中）
- ・2018年11月10日（土）：配役を決めた「マクベス」をサークル内発表
- ・2019年6月14日（金）笠松先生の文化交流使帰国報告会
- ・2019年9月25日 ところざわ倶楽部まつりに参加。「オセロー」を上演。

### 3. 来年度の方針

- ・定例会の継続実施（原則第一、第三土曜日の月2回）
- ・朗読終わった作品のサークル内発表の継続実施：表現の向上努力

## 12. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：080-1250-6151 会員数：31名

### ① 主なテーマ(サークルの活動方針)

- ・“映画は記憶のライブラリー”「懐かしの映画・鑑賞会」サークルは憧れの俳優、共に泣いたり笑った作品、あの時の街並み、あの時食べたもの、話題を共有する「憩いの談話室」です。
- ・「季節の歳時記」の行事を実施し、その行事の食べ物を料理し会食する。
- ・「一笑一若」（ひとつ笑う事で、ひとつ若くなる）を積極的に実行する。

### ② 活動実績

- ・H24年11月サークル発足から7年上映回数も10月末127回目となり、邦画、洋画やコメディやラブストーリーと作品も懐かしさだけでなく昔の感動と今で観る感動を楽しんでおります。
- ・来年1月には上映回数130回を数えます。上映回数は20回/年・参加延人数423名、夏休み時期には映画の知識と「映画の夕べ」を実施。
- ・地元文化を大切に季節の歳時記 「茹でまんじゅう」づくり、大成功60個づくり、美味しく頂きました。
- ・川越市スカラ座「弁士付き無声映画会」を年間行事に格上げ実施となっており、会員の皆様に課外の上映会として楽しんでおります。（年/11月予定も含め3回の実施）

### ③ 今後の計画

- ・所沢や近辺を題材とした映画作品の掘り出しと上映を行う。
- ・映画にまつわる街場所をめぐり、題材の建物や食事などを経験する課外行事を実施する。
- ・古くからの行事「季節の歳時記」を上映会のタイミングの中で楽しみながら実施する。

**13. 脳活サークル 代表：加曾利厚雄 連絡先：2939-2308 会員数： 名**

サークル方針：「認知症にならない私生活を身に付ける」をモットーに遊びながら学ぶ

平成 30 年度	活動内容	講師・参加者
11 月 13 日	シニアに優しい「健康食教室」	保健センター/30 名
12 月 3 日	「音楽療法の実践」「忘年会」	佐井佳代子氏/25 名
1 月 28 日	落語観賞：池袋演芸場	幹事会/12 名
2 月 25 日	オレンジタウン「朝活カフェ」若狭クリニック	幹事会/12 名
3 月 25 日	国立博物館見学「両陛下即位 30 周年と文化交流」	会員の講座/10 名
平成 31 年度	活動内容	講師・参加者
4 月 22 日	総会（話し合い）、懇親会（藍屋）	幹事会/16 名
5 月 27 日	「幸せを呼ぶ終活について」講演会	磯村修世氏/15 名
6 月 25 日	「TEPIA 先端技術館」見学	幹事会/10 名
7 月 22 日	ところ荘「デイサービス訪問」	泉さん幹事会/6 名
8 月 19 日	会員の話し「ナンスタディ」	鶴野沢氏/15 名
9 月 30 日	映画鑑賞「翔んで埼玉」	幹事会/25 名
10 月 19 日	若年性認知症丹野さんの講演と話し合い	泉さんと幹事会/70 名

**14. 傍聴席 代表：石堂智士 連絡先：2947-0835 会員：15名**

①今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

②今年度の活動実績

- 30. 11. 19 「市会議員選挙への計画立案」自由討議、前はアンケート調査、今回は？
- 30. 12. 17 「市会議員選挙アンケート調査」各自が提案し、全員協議にて検討。
- 31. 01. 21 「傍聴席総会」昨年度活動報告、「市議選アンケート調査」質問書検討。
- 31. 02. 17 「市議選アンケート調査」質問書、調査方法、ブログ掲載を検討。
- 31. 03. 18 「市議選アンケート調査」の実施予定。
- 31. 04. 15 「市議選アンケート結果」の中間報告。
- 31. 05. 20 「市議選アンケート結果」についての自由討論。
- 31. 06. 17 テーマ「坂道地区と平坦地区が住民健康に及ぼす影響について」平塚氏。
- 31. 07. 16 学習会「市議選アンケート資料（村瀬氏）」について自由討論。
- 31. 09. 17 「市議選アンケート資料（村瀬氏）」から、今後の活動テーマを探す。
- 31. 10. 21 学習会「公共施設マネジメント問題」資料用意

今年の参加者は6～12人です。ヤフーブログからライブドアブログへ変更になりました。

**15. 民話の会 代表：仲山富夫 連絡先：090-3902-0283 会員数：8名**

① 今年度の方針

所沢の民話10話、童話5話へ演目拡大

児童館・小学校・各種老人施設での民話を語る会の継続実施、ところざわ倶楽部まつりへの参加

② 今年度の活動実績

小学校三年生の授業（所沢・南・上新井・明峰・牛沼小学校）

各種老人施設（アンジューム所沢・ところ荘他）

オリジナル民話を創作（河童のお伊勢参り、塚ノ越地蔵、カヤ湯）

民話の会のオリジナルソングをPP挿入、演出

③ 来年度の方針

児童館・小学校三年生の授業・各種形態老人施設で民話の会を実施

ところざわ倶楽部まつりへ舞台参加

新しい民話を創作（目標2話）

オリジナルソング「民話はみんなの宝物」をBGMとして挿入、新たな楽器演奏で演出（琴演奏、ピアノ演奏）

会員を募り、2チーム体制を目指す



### 3. 第12期 会計報告および監査報告

(2018年11月1日～2019年10月31日)

＜収入の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	228,153	228,153	0	
会費	524,000	516,000	△8,000	258名×2,000
会報郵送費	31,200	29,600	△1,600	37名×800
講座受講料	156,000	147,000	△9,000	会員58名1,500 一般29名2,000 他
雑収入	98,000	87,500	△10,500	懇親会 総会后70名1,000、新年会35名500
合計金額	1,037,353	1,008,253	△29,100	

＜支出の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	160,000	173,000	13,000	新春の集い、講演会、連続講座等
会場費	190,000	103,120	△86,880	総会、講演会、理事会、編集会議、まつり
振込手数料	10,000	4,720	△5,280	会費・郵送料のうちよ振替手数料
会報発行費	47,000	22,668	△24,332	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	46,000	34,442	△11,558	「広場」郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	56,000	23,484	△32,516	総会案内はがき、総会資料送料発送、
	12,000	12,000	0	正副会長連絡事務費
事務費	100,000	106,314	6,314	事務用品・消耗品等
サークル補助費	102,000	97,000	△5,000	活動補助費(15サークル)、まつり舞台 出演補助費(8サークル)
IT費	143,889	139,843	△4,046	広場編集用 PC、HP サーバー使用料、 ウイルスソフト、プロジェクター修理
雑費	140,000	97,590	△42,410	総会后及び新年会懇親会飲食費
次期繰越金	30,464	194,072	163,608	
合計金額	1,037,353	1,008,253	△29,100	

上記のとおり報告いたします。

2019年10月31日 総務部 会計 中原幹男 ㊞ 太西 優 ㊞ 岡崎久子 ㊞

＜監査報告＞

ところざわ倶楽部(2018年11月1日～2019年10月31日)の会計書類について監査を行い、報告書は2019年10月31日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

2019年11月11日 会計監査 田村健一郎 ㊞ 小野さとえ ㊞

#### 4. 第13期役員改選（案）

No	期	氏名	第13期役職	理事	第12期役職	推薦母体及びサークル
1	21	佐藤 重松	会長	留任	会長	理事会推薦
2	20	玉上 佳彦	副会長広報部長	留任	副会長広報部長	理事会推薦
3	17	森野 辰夫	副会長事業部長	留任	副会長事業部長	理事会推薦
4	20	中原 幹男	副会長総務部長	留任	副会長総務部長	地球環境に学ぶ
5	23	大木 美和子	副会長	留任	広報部担当理事	ドラマティック・カンパニー
6	22	西郡 貢	広報部副部長	留任	広報部副部長	理事会推薦
7	22	大西 優	総務部副部長	留任	総務部担当理事	所沢シニア世代地域デビュー支援
8	19	岡崎 久子	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	理事会推薦
9	17	石堂 智士	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	傍聴席
10	23	中村 昌彦	総務部担当理事	新任		所沢の自然と農業
11	25	松尾 基昭	事業部副部長	留任	事業部担当理事	アジア研究会
12	15	仲山 富夫	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	理事会推薦
13	14	佐藤 美津子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	民話の会
14	16	戸田 チイ子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	野老澤の歴史をたのしむ会
15	22	水上 俊彦	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	葵の会
16	23	木下 みえこ	事業部担当理事	新任		食を通して所沢を知る会
17	23	内川 賢治	事業部担当理事	新任		懐かしの映画・鑑賞会
18	25	豊島 由久	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	理事会推薦 27期企画委員長
19	19	園田 ヒロ子	広報部担当理事	留任	事業部担当理事	理事会推薦
20	23	川上 紀春	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	生きいきシニア福祉の会
21	23	岩瀬 真弓	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	楽悠クラブ
22	25	浪間 扶美子	広報部担当理事	新任		理事会推薦
23	18	田村 健一郎	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦
24	19	遠山 とも子	会計監査	新任	会計監査	理事会推薦

退任理事： 加藤敏恭、方山みどり、松尾龍之、小野さとえ

## 5. ところざわ倶楽部第13期活動方針（案）

### ＜“毎日元気を更新” 何事も“楽しんでやる”が最上級＞

ところざわ倶楽部会長 佐藤 重松

ところざわ倶楽部の多彩な活動は年々進化し続けており、シニア世代のモデルと云っても過言ではありません。一方、会員の構成は新会員の入会数と退会者数がほぼ拮抗し、260名前後の会員数を維持している現状です。加えて、現代の雇用情勢の影響もあって、市民大学受講者の年齢も上昇傾向にあります。

人生90年とも、100年ともいわれる時代です。それに相応しいところざわ倶楽部のあり方、活動の仕方を模索する時期にきているように思います。

第13期の活動方針について、以下の通り提案致します。

第12期総括を踏まえて、課題とするところ、新たに取り組むところの両面で13期をすすめていきます。

- 1) 全会員をつなぐ事業計画は、引き続き創意工夫を重ねて進めます。  
各事業計画は、事業部の実施計画に基づき、理事会事業部が推進役となりながら、計画立案、実施運営については単一の実行委員会を構成して、会員の知恵の結集を図ります。
- 2) 関係するサークルを中心としながら、引き続き今日的テーマを取り上げながら、ミニ講演会やミニ集会をサークルの垣根を越えて、会員の学習の場、交流の場として進めます。  
本日の総会後の講演「海洋プラスチック問題・・・」もその一環であり、12期には講演「原発問題」を受けて第2弾「原発トーク」集会を実施しましたが、関連の第3弾として、俳優中村敦夫の朗読劇「線量計が鳴る」を年明け2月公演開催に向け取り組みます。
- 3) 市民大学OB会として、市民大学が四半世紀を越えた現在更なる半世紀に向かって課題とする点や、改善すべき点はないのか、例えばもっと若い社会人が受講できるような開催日の提案などを検討すべき時がきているように思います。方向性を展望しながら、関係方面と協議検討ができる環境づくりをします。
- 4) 会員の高齢化は不可避で、その現実を踏まえた“共助”の取り組みの必要を感じます。  
大前提は言うまでもなく自助努力だと思いますが、高齢がすすむにしたがって、予期

せぬ事態が日常のなかで起こり得ます。第一に健康維持に心しながら、様々な状況に対応する知恵と関係する機関とつながる情報の共有化を、福祉関連サークルの連携ですすめる年にします。

5) 引き続き、所沢市行政 11 地区に、身近な交流の場づくりを進めます。

最後に、近年、日本社会の状況は、“良”と言い難い現実があらゆる分野で噴出しているのではないのでしょうか。政治、行政は言うに及ばず、不正がまかり通る企業倫理の欠落、市井に於いても、凄惨な事件や出来事が多発し、子供から大人に至るまで、潤いとゆとりのない社会へと変容しているように思います。「不都合な真実」に対して個々の会員が「声」をあげていく年に出来ればと思います。

## 6 第13期活動計画（案）

### 6-1 事業活動計画（案）

事業部長 森野 辰夫

#### 1. 活動方針

前年同様、会員の皆さんが関心を持つテーマを取り上げ、多くの方々に参加して頂ける企画を進めてまいります。また各サークルとの共催を含め、小規模なシンポジウム等の開催も目指して参りたいと考えております。

昨年は原発問題の講演会から、原発トークへと繋げて戴きました。今年度もさらに発展させ、講演会、文学講座等も講座を聞くだけでなく、サークルの枠を超え、会員相互の交流の場が持てればと考えております。

各サークルの皆様、個人会員の皆様、ご興味のあるテーマがありましたらご提案願います。

#### 2. 活動計画

- ① 新春の集い： 新会員紹介、サークルの紹介を通し、新旧会員の交流を図る。  
余興として、落語等新春に相応しい催しを開催
- ② 時局講演会： 会員の多くが関心を持つ社会情勢に合ったテーマを選定
- ③ 文芸講座： 会員、一般市民を対象とする講座（有料講座）
- ④ ところざわ倶楽部まつり： 基本的には12期に開催した“まつり”の形式を踏襲
- ⑤ 定期総会： 総会、会員の懇親会
- ⑥ シンポジウム：サークルとの共催で会員共通のテーマを選定し開催を目指す。

#### 第13期 事業計画(開催時期及び概要)

時 期	イベント 概要
1 月	新春の集い
4 月	時局講演会
6、7 月	文芸講座
9 月	ところざわ倶楽部まつり
11 月	定期総会
検討	シンポジウム

（時期、内容については状況により変更 する事があります。）

## 6-2 広報活動計画（案）

広報部長 玉上佳彦

広報部は、これまで同様に、各サークルや地域にて活躍されているアクティブシニアを応援する情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページを充実させていきます。具体的には以下のような施策を進めていきます。

### 1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ①学習活動の継続
- ②会員相互の親睦と情報交換
- ③学びを地域に活かす
- ④ネットワークづくり

を念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信に注力する。

### 2. 編集体制の強化

- ・ 広報部担当理事だけでなく、経験豊富な編集委員の参加により、編集体制の強化を図る。特に女性の編集委員の増員により、女性が気楽に投稿できる体制を進める。
- ・ 前年度と同じく、役員編集会議への参加を要請し、ところざわ倶楽部各部の活動方針との整合性をもたせる。

### 3. 広報紙「広場」

- ・ 原則として、従来どおりの8ページ構成の紙面で月刊紙として発行する。
- ・ ネット環境を有しない会員への的確な情報提供媒体とする。
- ・ 配布先を公民館だけでなく、コミセンなどへの配布先を拡げる。
- ・ 昨年6月号から続いている「戦争と平和！」シリーズを2020年7月頃をメドにまとめ、投稿者をパネラーとするシンポジウムを予定。現在基調講演者を検討中。
- ・ 新企画、新シリーズを提案し、会員の投稿の増加を図る。
- ・ 2007年12月発行の第1号から、今月の通巻132号までの貴重な情報を探しやすい「索引」を第13期中に作成する。

### 4. ホームページ

- ・ ネット時代に対応した最新の情報、コンテンツの充実を図る。
- ・ 会員相互による双方向の情報ツールとして、情報交換やアピールの場を提供する。
- ・ 各サークル間の連携を図り、サークル合同企画などで、より活発な「ところざわ倶楽部」の広報部門としての活動を展開する。
- ・ 他の協力団体（名人・達人の会、野老澤町造商店企画など）や会員個人の活動に関する情報を掲載し、興味ある会員への情報提供をする。

## 7. 第13期 予算案

(2019年11月1日～2020年10月31日)

### ≪収入の部≫

(単位円)

項目	13期予算	前12期決算	増減	備考
前期繰越金	194,072	228,153	△34,081	
会費	520,000	516,000	4,000	13期 260名×2,000
会報郵送費	32,000	29,600	2,400	13期 40名× 800
講座受講料	135,000	147,000	△12,000	会員 50名×1,500 一般 30×2,000
雑収入	30,000	87,500	△57,500	総会時懇親会 0 新年会 50名×600
合計金額	911,072	1,008,253	△97,181	

### ≪支出の部≫

(単位円)

項目	13期予算	前12期決算	増減	備考
講演会講師謝礼	186,000	173,000	13,000	新春の集い、講演会、講座等
会場費	190,000	103,120	86,880	総会、講演会、講座、理事会、まつり等
振込手数料	5,000	4,720	280	会費・郵送料のうちよ振替手数料
会報発行費	30,000	22,668	7,332	「広場」(用紙・封筒・印刷代等)
会報郵送費	40,000	34,442	5,558	「広場」郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	30,000	23,484	6,516	総会ハガキ、総会資料等郵送
	15,000	12,000	3,000	会長、4副会長連絡事務費
事務費	115,000	106,314	8,686	事務用品・消耗品、印刷代
サークル補助費	118,000	97,000	21,000	活動補助(15サークル)、まつり補助、 民話の会横断幕作成費
IT費	32,000	139,843	△107,843	HPサーバ使用料、ウイルスソフト
雑費	30,000	97,590	△67,590	新春の集い懇親会お茶お菓子代等
予備費	90,000		90,000	朗読劇 会場費、チラシ等
次期繰越金	30,072	194,072	△164,000	
合計金額	911,072	1,008,253	△97,181	

総務部長 中原幹男

